

— 広報 — なまきじん

毎月1日発行



村章

12

1991
No.193

●今帰仁村の人口

平成3年10月31日現在
男4,776人(-2) 女4,851人(-5)
世帯数3,091(±0)
村の人口9,627(-7)



ハッキンス氏ご夫妻「今帰仁村文化祭」で比嘉リミ子先生から茶道の手ほどきを受ける

1950年代のカラーライドを今帰仁へ 懐かしい風景や人たちが...

「今帰仁の原風景」、あるいは「沖縄の原風景」とでも言うか。一九五〇年代のカラーライドの映写を見た第一印象である。今帰仁や名護、本部、伊江、宮古など一九五〇年代の六六〇枚余のライドを持って来られたのは、宣教師メルビン・ハッキンス氏ご夫妻である。

一九五〇年に来沖、名護の宮里で宣教活動を開始、翌年に今帰仁村今泊へ。そのかたわら多くの写真撮影をされた。当時のカラーによる人物や風景の鮮明さや、その枚数の多さに驚いた。四〇年前、あるいは三〇年前の顔、回りの風景など、消えかけた記憶を呼び起こしてくれた。三、四〇年間の歴史と自分の人生とを重ねながらライドを見つめた方々も多かったであろう。かつての風景や自分の顔や知人の顔、懐かしさや感動でいっぱいであった。

ハッキンス氏の撮影した貴重なカラーライドは、今帰仁村民をはじめ、多くの方々にとって予期しない大きな贈りものであった。歴史資料館準備室の企画展で、一部展示する予定です。

運動会には大勢の人が参加



大会は、中南部在住の村出身者で組織する会員が一堂に会して、スポーツを楽しみ、会員相互の親睦と会の発展を図ろうというもので、約二千二百人の会員が参加。今帰仁からは、上間博安村長、大城勝助役、山城正義長、議員、区長ら約百五十名が駆け付け交流を深めた。

強い絆で結ばれた 北山郷友会が 大運動会

第十三回北山郷友会大運動会(大会長・喜友名盛広会長)が、十一月三日午前十時、那覇市金城中学校グラウンドで開かれた。

開会式で、喜友名会長は、「積極的に競技に参加して心地よい汗を流し、明日への鋭気を養う楽しい運動会にしましょう」とあいさつ。続いて上間村長が「強い絆で結ばれた郷友会がより一層発展することを期待します。これからもふるさと今帰仁の発展にご協力をお願いします」と祝辞を述べた。

参加しませんか 新春ロードレース

新年の走り初めは恒例の新春ロードレースで飾ってみませんか。正月の二日、総合運動公園をスタート、ゴールで行われる大会の完走者全員に記録証が交付されます。

- 日 時 平成4年1月2日(木) 午前8時受付、9時開会式 10時スタート
- 場 所 総合運動公園ホッケー場
- 申し込み先 村体育協会事務局 電話56-2101(内線24)
- 参加料 300円(保険料含む)
- 受付期限 平成3年12月16日(月) 午後5時(参加料ご持参でお願いします)

- 種 目
 - (1)小学生 男女1KM(3~4年生) 男女2KM(5~6年生)
 - (2)中学生 男子3KM、女子2KM
 - (3)高校生 男子8.5KM、女子3KM
 - (4)一般 男子8.5KM、女子3KM
 - (5)30代 5KM、(6)40代 3KM
 - (7)50代 3KM

五センチほどのキノコが、ニョキニョキと伸びて直径約一メートルに。八月のある日、仲松栄一さん(湧川一七五六)が、自宅近くの畑に出かけ見

つけたキノコは、二か月で大きく成長。これまで見たことのない「ジャンボキノコ」を小型トラックに積み役場を訪れた仲松さんの依頼により、林業係が沖

縄県北部林業試験場で鑑定した。仲松さんは、息子の弥寿一さんと千五百坪の菊づくりと畜産に忙しい毎日だが「新しい作物として大きな可能性のあるキノコ栽培に挑戦してみたい」と話していた。

世界一大きくなる ニオウシメジ 仲松栄一さんの 畑で発見



シメジについて語る仲松さん(右)

てもらったところ、ニオウシメジであることが判明。ニオウシメジは一本一本がひと塊になった株の状態では世界で一番大きくなるそうだ。中央アフリカの原産で、日本では群馬県から南の沖縄県まで発見が報告されている。このニオウシメジ、北山高校でも見つかかり、十月十四日職員が試食会を開いた。「大きいだけでなく、味、香りともすばらしい」と話す崎浜導秀先生。

ちゅくてみしらな

我した、今帰仁文化村 第九回 今帰仁村文化祭、展示・舞台充実

「ちゅくてみしらな我した今帰仁文化むら」をテーマに十一月二日、三日の両日第九回今帰仁村文化祭が、中央公民館、コミュニティセンターを会場に華やかに開催された。文化祭は、多くの村民に作品発表の機会と鑑賞の場を提供し、生活文化の充実とむら興しに寄与するのが目的。

初日の二日午後一時から関係者が出席し、西島一将実行委員長(教育長)、上間博安村長、大城勝助役の手によりテープカットが行なわれ開場。展示会場では、大勢の人々が詰めかけ、児童生徒の習字、図画をはじめ高校生、一般の書道、絵画、写真、陶芸、染織、生け花、手工芸、盆栽、農産加工品等の作品を真剣な眼差しで鑑賞。水でつぼう、かざぐるま、虫かごなどの手作り遊具コーナー、商工会コーナーも設けられた。

舞台では、大正琴教室の演奏、保育園児の琉舞、サークルの復活術、人形劇、小中学生による吹奏楽、地域に伝わる伝統芸能の果報節、エサ節、干瀬節とミヤクニの数々。それに民謡の幸せ列島、かりゆし港小、遊び庭などの多彩なプログラムが披露された。「写真にみる今帰仁」の会場では明治、大正、昭和のなつかしい写真に若い方、年配者を問わず人気を集め熱心に入っていた。



▲学友の作品に見入る小学生



▲舞台発表にも大勢の人々が詰めかけた



▲絵画部門も年々充実



▲「写真にみる今帰仁今昔」会場



▲陶器を見つめる目も真剣



▲商工会コーナーは初の出展



▲即売コーナーで品物を手にする子どもたち



▲会場では「芭蕉布」の実演も行われた



▲好評を得た盆栽展

天底出身の与那敏さん バンド演奏の校歌プレゼント

宮里校長にテープを手渡す与那さん(左)



ドを出している歌手で「おかわりクラス」は有線放送で全国三十二位の実績をもつ。自分で歌うほか(株)キャロットの経営者として、小泉今日子、桑田圭祐はじめ、数多くの歌手のレコード製作も手がけている。それに桑田圭祐とカバが出演する国内最大手の生命保険会社のコミーシャル製作も。

山かけ青き ひろのはら いずみ絶えせず 流れきて 黄金の穂波 ゆれなびく 神のみ恵み あおぎつつ 耕しゆかん 青野原
ああ我等は 土の子
これは、天底小学校の校歌の一節である。この校歌を小学校時代お世話になったお礼にと、歌手の与那敏さん(天底出身)が歌い、自前のバンド「キャロット」が演奏したテープをこのほど、同校を訪ね、宮里明男校長に手渡した。与那さんは、何枚もレコー

幼い日、遊びまわった校庭のガジュマルの木陰で、与那さんは「思い出のいっばいある母校に少しでも恩返しができるたらと企画しました。これから、才能ある沖繩の若い方の歌手デビューのお手伝いができたら」と夢を語った。
「校歌」のプレゼントに宮里校長は「各種の学校行事に活用したい」と話した。
与那さんがレコーディング中の曲は北と南を歌う「細雪」と「ひと夏のメモリー」、正月にはレコード店にCDが並ぶ。

人権週間12月4日～10日

ありがとう やすしき

重点目標

- ◆国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう
- ◆いじめ・体罰の根を絶とう
- ◆部落差別をなくそう
- ◆女性の地位を高めよう
- ◆障害者の完全参加と平等を実現しよう

もし、皆様の生活の中で人権問題、登記、金銭貸借、戸籍、児童生徒間における「いじめ」の問題やその他の法律問題でお困りの方は、お気軽に地元の人権擁護委員か那覇地方方法務局名護支局の人権相談所を御利用下さい。相談は無料で、秘密は守られます。

今婦仁村の人権擁護委員は、村上仁賢(兼次944)、島袋輝志雄(諸志171)比嘉盛一(今泊200)、諸喜田スエ子(仲宗根339)の各氏です。
那覇地方方法務局名護支局・名護人権擁護委員協議会

沖ハム初出場で優勝 村バスケットボール選手権



競技人口の拡大を目指そうと第八回今婦仁村バスケットボール選手権大会(主催・村体育協会)が、十一月十日午前十時から北山高校体育館で行われた。
大会には、あじろ、沖ハム、伊波ゼミナール、座間味タイヤ、古宇利、とり好の六チームが出場し、熱戦を展開した。その結果、決勝戦には、沖ハムととり好が進出。前半は互角の力で試合は進んだが後半速攻に徹した沖ハムが五十対三十八で初出場優勝の栄冠に輝いた。
また、初戦から決勝戦まで攻守にわたる活躍をみせた仲宗根寿次選手(沖ハム)に最優秀選手賞が贈られた。

ご寄付

- 村社会福祉協議会へ
嵐山ゴルフ倶楽部からオーブン記念チャリティゴルフ大会の収益金二十七万二千円。
古堅ツルさん(越地六三三)から夫盛喜さんの香典返しとして五万円。
運天政利さん(運天一一五八)から母ウシさんの香典返しとして十万円。
一心工房から村文化祭の売上の一部五千元。
飯田歩さん(本部町)から障害者フェスティバルの協力報償金として五千元。
■村育英会へ
奥原伊佐夫さんから父傳寶さんのカジマヤー記念として三万円。

世代間の広流を すすめよう 第17回 老人婦人スポーツ大会

「第十七回老人婦人スポーツ大会」が、さわやかな天気にも恵まれ、十月二十日村営グラウンドで行われた。
大会は、村老人クラブ連合会(諸喜田幸福会長・会員八八一人)村婦人会(大城義子会長・会員六三五人)の主催で開かれ「世代間の交流と健康づくりを目指そう」と、多くの村民が参加した。
午前九時、チーム旗を高く掲げ選手団が入場。嘉手納典一さんと当間玲子さんの力強い選手宣誓で大会の幕があいた。最初の競技は、おじいちゃん、おばあちゃんと小学生



航路標識守る運天政治わん 第十一管区海上保安本部長表彰

船舶の安全を守る航路標識の看守補助員として長年、灯火の監視を続けている運天政治さん(八十九歳、運天一〇二九)が、十一月七日、第十一管区海上保安本部の本部長表彰を受けた。
運天構造改善センターで行われた伝達式には、運天区民や漁協関係者らが出席。河端春夏保安本部次長から感謝状が手渡された。
運天さんは昭和五十年四月一日に運天港第一号灯浮標など四基の灯火監視を委嘱された。以来、航路標識の重要性をよく認識し、通算十五年余にわたり積極的に業務に協力した功績が認められたもの。
運天さんは、受賞について「船の安全にかかわる大事なことなので気をつけて毎日見回っています」と喜びを静かな口調で話していた。
また、七十八歳まで一本釣りの「ウミンチュ」としてサワラやアカジンなどの漁を続けてきた運天さんは、灯火監視を委嘱されてからは朝晩二回の監視を日課としており、「浜辺に出て潮風に当たるのは健康にもいいですよ」と述べていた。

大球転がしにも力が入る

婦人会、千変万化の一コマ

十五年間、航路を守った運天さん

写真にみる今帰仁

18

仲宗根のアサギ付近

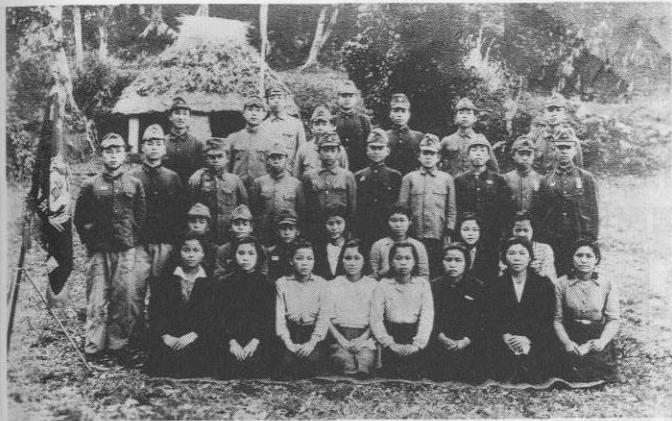
仲宗根の集落は、今でこそマチ的な景観をみせているものの、かつて他の字(部落)と同様、村落的な集落景観をなしていた。旧集落はグシクンチチを背に、南斜面に発達していた。明治以後、前田原がマチに発達していったムラであるが、かつての集落形態が公民館周辺に今でも名残り

をとどめている。仲宗根の旧集落付近には、グシクンチチをはじめお宮、神アサギなどの拝所がある。神アサギ前の広場は、記念写真をとる恰好の場所であった。一枚目の写真は、与那嶺善太郎氏提供の昭和十七年の写真である。ここに収まっている多くの方々が、戦争の犠牲

となり、帰らぬ人となった。自分の運命も知らずして、記念写真に収まったのである。青年団の旗を立て、戦時体制下にあつたためか、まだあどけない顔に緊張した雰囲気が見え、昭和十七年という時代が映し出されているのである。グシクンチチの麓に仲宗根

の神アサギがあり、屋根は茅葺きである。お宮がまだ建立されていない頃である。中央の写真は、昭和三十一年一月五日の敬老会の記念写真である。一列から二列の中央に字の大先輩を座らせ、その両側と一番後側に字の有志の方々がいる。故宮里政安氏(元村長)や故大城健一氏(元立法院議員)などの顔が見える。後方を見ると、新しくお宮が建立されており、その当時アサギはまだ茅葺き屋根である。昭和十七年の写真の方々のうち戦争をくぐり抜

け、昭和三十三年の敬老会に何人の方々が参加しているのだろうか。下の写真は、昭和四十七年の仲宗根のアサギ付近である。アサギに神人、そしてお宮の階段に高校生の姿が見え、何かゆつたりした、のどかな感じがする。その頃、アサギは茅葺きから瓦に葺き替えられている。昭和十七年、同三十二年、そして同四十七年の十五年ごとの仲宗根のアサギ付近の三枚の写真を並べてみた。時間の経過が実感できると同時に、ムラの方々の世代交代やアサギ周辺の変化、服装などにそれぞれの時代の社会状況が反映している。仲宗根のアサギ周辺は、今でも大きく変わりがつある。アサギが上の方に移設され、公民館ができ、さらにお宮がなくなり、グシクンチチは公園整備がなされている最中である。仲宗根のアサギ周辺が、大きく変わる年であり、その中で瓦屋根になったり移築されたりしているアサギではあるが、まだまだムラの人々の中に根強く生き続けている。



▲仲宗根のアサギの前での記念撮影(昭和17年頃)



▲仲宗根の敬老会の記念撮影(昭和32年)



▲仲宗根のお宮と神アサギ(昭和47年)

仲宗根 弘哲 (歴史資料館準備室)

「完全参加と平等」をテーマに 北部地区障害者フエスティバル

第八回障害者フエスティバルが、十一月十日午前十時から総合運動公園サブグラウンドで行われた。

フエスティバルは、昭和五十六年に制定された国際障害者年を契機に「完全参加と平等」のテーマに基づき、障害者の社会参加をより一層促進するために開催されるようになったもので約六百人が参加

開会式であいさつに立った平議善福フエスティバル実行委員長は「障害者の皆さん、ボランティアの皆さん各種の競技や演技に積極的に参加して、よき思い出ができるよう頑張ってください」と語った。続いて、上間博安村長、山里明県生活福祉部長、瀬長浩県社会福祉協議会会長があいさつ。このあと、人形劇、琉舞、

エイサー、カラオケ大会、グランドゴルフ大会、点字体験コーナーなど多彩なプログラムで賑わった。宜野座村から参加した照屋光雄さんは車イスでグランドゴルフに挑戦。「二度目のプレイですがとても楽しい。適度の運動にもなるのでこれからも続けたい」と笑顔で話していた。



人形と遊ぶ参加者



ジャンケンゲーム・グーチョキパー



点字にチャレンジの子ども達



基盤整備により単収アップが期待される



確実に進む農業近代化 鎌城土地改良着工へ 総事業費2億7千万円

湧川の鎌城土地改良の発足にともなう第一回通常総会が十一月十一日午後二時から湧川公民館で行われた。組合員関係者を前に、神谷繁勝理事長は「機械化のできる基盤整備を進め単収アップを目指したい。組合員のご協力をお願いします」とあいさつ。また、上間博安村長は「農産物を取り巻く国内外の情勢は厳しいものがありますが、沖縄の気候を活かした付加価値の高い農業経営に向け土地改良に取り組んでいただきたい」と組合員を激励した。

鎌城土地改良区工事は、組合員十六名、受益面積十四・八ヘクタール、総事業費二億七千万円で、平成五年末の完成予定。なお、湧川では、嵐山の土地改良が果営で進められており鎌城は二番目の土地改良事業となる。

12 月/師走

村民カレンダー

1991年



12 1 日	○歳末たすけあい運動(1日~31日)
2 月	○ツベルクリン反応検査(14:00~15:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
3 火	○手話サークル勉強会(19:30~20:30コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
4 水	○人権相談(10:00~コミセン)、人権週間(4日~10日) ○BCG予防接種(14:00~15:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
5 木	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
6 金	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○牛のセリ市(11:00~家畜セリ市場)
7 土	○インフルエンザ予防接種(14:00~15:00コミセン) ○サントピア沖縄(12:45本部町具志堅公民館出発) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
8 日	○第23回国頭地区小学校音楽発表会 (名護市民会館大ホール 9:30~13:00)
9 月	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○障害者の日
10 火	○1歳6か月児健診(13:00~14:00受付) ○手話サークル勉強会(19:30~20:30コミセン) ○子豚セリ市(13:00~家畜セリ市場)
11 水	○歯科検診(13:00~15:00受付コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
12 木	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
13 金	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
14 土	○村少年剣道選手権大会(14:00~今帰仁小学校) ○国頭地区新人野球大会 ○北部地区農協総合展示会(経済連北部支所)
15 日	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○国頭地区中学校新人野球大会 ○北部地区農協総合展示会(経済連北部支所)
16 月	○3歳児健診(13:00~14:00受付コミセン) ○新春ロードレース申込締め切(17:00体協事務局)

17 火	○DPT予防接種(13:00~14:00コミセン) ○手話サークル勉強会(19:30~20:30コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
18 水	○歯科検診(13:00~15:00受付コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
19 木	○学力向上対策家庭地域部会(18:00~中央公民館) ○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン) ○税の説明会(13:00~コミセン)
20 金	○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
21 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
22 日	○冬至
23 月	○第2回今帰仁村ふれあい少年の翼出発(山形県酒田市) ○天皇誕生日
24 火	○第2回今帰仁村ふれあい少年の翼(山形県酒田村) ○クリスマスイブ
25 水	○第2回今帰仁村ふれあい少年の翼(山形県酒田市) ○クリスマス
26 木	○第2回今帰仁村ふれあい少年の翼(山形県酒田市) ○今帰仁村ホッケー大会(8:30~総合運動公園) ○国頭地区中学校総合体育大会 ○子豚セリ市(13:00~家畜セリ市場)
27 金	○国頭地区中学校総合体育大会 ○御用納め
28 土	○役場年末休日
29 日	○役場年末休日
30 月	○役場年末休日
31 火	○役場年末休日
1 1 水	○元旦 役場年始休日 ○第11回今泊新春マラソン大会 (10:30今泊公民館前スタート)

■弦楽四重奏曲ハイドンセットの複雑で神秘的なメロディ。「トルコ行進曲」のあの高揚感。「デイベルティメント」の純粹さと美しさ。「ドン・ジョバンニ」の二重奏「手を取り合って」のせつないほどの甘さ。「レイクエム」の底なしの憂愁。

■数々の作品を生んだ尽きる事のないモーツアルトの創造力。そこには、めまいがするほどの多様性があり、言いたい深さがある。

■作家のヒルデスハイマーをして「言葉で語るのには不可能だ」と言わしめるモーツアルトの音楽。十二月五日は、一七九一年ザルツブルグで生まれ、ウィーンでその名を高めたウォルフガング・アマデウス・モーツアルトの没後二百年である。時代を超えてその名は人々の心をとらえる。

■三つの力強い和音ではじまる交響曲「ジュピター」の響きは、ほとぼしる想像力が可能にした不思議な音の世界を喚起する。

